常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番

夏家具 かや一式 家具のデパート あるが 平市銀座 電223

財務事務所一日發足
地方事務所三十一日に閉庁式

県の機構改革に伴い石城地方事務所は九月一日から財務事務所と看板替して新発足することになり三十一日午前十時から同所で地方事務所閉庁式を挙行することになつた、なお九月一日からは従来の総務課と税務課が財務事務所に、農地課と土地改良は合同して農地事務所に、経済課と林務課はそれぞれ駐在所に農業改良課は農業改良指導所にそれぞれ肩替りして新発足する。これにともなう人事は九月一日付で発令される運びになつているが、初代財務事務所長には機構替えによる混乱を防ぐためにも井沢現地方事務所長に落ちつく公算が強い、また石城福祉事務所は現在通り残留する

幼児の事故死事件
禁じられてる子供連れ就労を 黙認した失対事務所にも責任

「昨報」内郷市綴町福島労災病院敷地工事現場で土を満載したトロにひかれて右足首切断、左足骨折の重傷を負つた内郷市綴町堀坂日雇新井キヨノさん(三二)の二女エミ子ちやん(二)は同病院に収容して手当を加えた甲斐なく二十五日午前一時ごろ遂に死亡したが、この事件をめぐつて現場監督の責任にある失対事務所が危険な作業現場に子供の立入りを黙認していたことについて批判が持ち上つている

日雇者が職安所及び失対事務所で就労認定をうける場合は「子供は家でみられる人」と云う条件があるため、子供を連れて就労することは堅く禁じられているにもかゝわらず失対事務所側では「現在の平地方における失業者の状況からみて、子供を連れて仕事にたづさわることは何とも仕方がないことである」として放任しておいたことが無心な幼児の死を早やめた一因ともなつている、と云うもので、現場の作業員達もこの点対策を協議しているとも云われるが、近日中にはこの「幼児の死」とめぐつて相当突進した交渉も行われるものとみられている。

必要な保育施設
黙認止むを得ぬ現状

これについて石城失対事務所の高木所長は次のように語つている。「子供連れで働く日雇者は失対就労の適確者として認定されないことになつているので、法的には子供連れの失対就労は認めないことになつているのだが、現在の日雇者の状態から人情的に拒否できない情勢にあるため黙認している結果になつている。問題はこの人達が安心して子供をあづけておける保育施設があればこのようなことも防げるし、法規に基いた作業規律も守れるのだが、今のところどうにもならない。県の方にも報告してこの様なことの再び起さないよう善処策を講ずると共に、労務者側の協力も求めて行く意外にないと思うが、基準法通りにでき上つた問題だけを取りあげて批判すれば、私の方の違反行為ともなる

経済大弁論会

東京経済大学雄弁会の演説会は二十六日午後一時から平商講堂で、朝日新聞社杯争奪学生討論会に二年連続優勝の大和田正弘君外十五名の弁士が熱演する、なお当日は総理大臣杯が授与される。

都市近効に於ける農業經営の在り方
勿来市で総合調査始む

勿来市では二十六日午前十時から経済企画庁計画部中谷技官を招き「勿来市農業経営の基本方策」について講演会を開催すると共に、市内農業地を現地踏査し、都市近郊に於ける農業経営の新方針を樹立する。

これは勿来市発足に伴い商工業を中心とした都市計画の推進に対し都市近郊に於ける農業の経営の在り方に対する理解を研究が比較的に軽視されていることから、将来に於ける農業経営の総合計画を樹立、商工業と農業経営のマツチさせた産業振興を企図するもので今後の成果は期待される。

火薬許可は県商工課で
火薬取扱改正

石城地方事務所経済課では去る十七日から改正になつた火薬類取扱一部改正の件について九月中旬これについて▽法規関係一部改正の件▽保安検査結果報告会▽県機構改革によるところの火薬事務の改正について説明会を行うが、現行の法規と変るところは、従来地方事務所経済課(県出先機関)で許可したものが八月十七日以降は県商工課で取扱うことになつたのと、火薬の数量、保安関係などが現在よりも一段と厳重になつたことが目立ち、同法の施行によつて本庁の許可をあおぐため日数が掛かるので県内の約七割をしめている火薬取扱業者は許可などあらかじめ申請書を提出するよう望んでいる、なお県企構改革のため、同経済課では特例として八月三十一日まで許可を受付けるが九月一日からは県商工課で許可することになる。

平火葬場の落成式

去る六月一日から名古屋市博愛KK=社長荒蒔次氏=請負で工事が進められていた平市営火葬場(大館地内)が今月末に完成の運びとなつたので、九月三日午前十時から同場に於て諸橋平市長など来賓約百名を招いて盛大に落成式を挙行する事になり、同時に工事請負者を表彰する。

この新火葬場は近代的でモダンなもので、火葬炉三基の他に待合室などが備えてある。今まで火葬に付すのに三時間かかつたものが、重油を使用する為に一時間半位で焼けるというもので総工費は四百八十二万五千円を費やした。

牛と豚肉 ハムとソーセージ 藤越 平電1282

全く記憶がない
豊間の刺傷犯が自供

「昨報」平市豊間字原町農大嶺秀次さん(三四)を出刃包丁で刺し、胸間肋に達する重傷を負わせた同字あわび採り鈴木忠良(三四)は一夜の留置で酒の酔いもさめ、二十五日朝本格的取調べをうけたが、出刃包丁を持ちだした事、大嶺さんを呼び出して連れて行つたこと、そしていきなり刺したことなど、どれ一つとして記憶にしているものはなく、全くの無意識状態であつたと供述している。

兇行に及んだ動機については、鈴木が兄弟のようにしている友人が最近大嶺さんの家によく遊びに行つていたらしく、当夜もその友人が盆踊りにも姿をみせぬところから或いは大嶺さんの家で遊んでいるのではないかと考え日頃の酒乱も手伝つて出掛けたものらしい。平署では殺人未遂の疑いもあると厳重な調べをしたが、全然記憶になく、そんな恐ろしいことをしてしまつたのかと驚いている鈴木の当夜の状況を見て明日傷害で身柄送検する。

なお、多量出血のため一時は生命を危ぶまれていた被害者大嶺さんは二十四日夕刻ようやく危機を脱したが全治一カ月をこす見込み

模範部落交換会
石城生活改善連絡協

石城生活改善連絡協議会(平保健所、地方事務所、教委会)では二十六日午後一時から神谷原種農場で生活改善模範部落交換会を開く同会には生活改善部落に指定されている植田町東田部落、平市北白土、沢渡村上市萱部落、湯本磐崎地区、特別指導部落好間村大谷作部の代表が出席して迷信打破その他の件で現在までに成果の上つた実情の意見交換を行うもの。

乗客を殴る
バスの中でトラ大暴れ

二十四日午後三時ごろ平駅前常磐交通小名浜行バスの中で、内郷市内町字前田無職角田二夫(三一)は泥酔の上同乗していた同市字前田常磐炭砿電力係菅野敏勝さん(三四)に対し「何で俺の顔を見るのだ」といいんねんをつけ、手拳で菅野さんの顔を数回殴打全治一週間の打撲傷を負わせ、平署に暴行現行犯で逮捕された。

女は死亡
勿来の心中

去る二十二日勿来市植田町才丸旅館で結婚できぬのを悲観して抱合心中を計つた平市北目町明智正次さん(三三)と好間村北好間無職鈴木トヨ子さん(二二)は同市永井病院で手当を加えられていたがトヨ子さんは手当のかいなく同夜十時絶命した。又正次さんはおかゆを食べられる様になり危篤状態を持ち直した。なおトヨ子さんの葬儀は明二十六日自宅で行われる。

鉄道自殺

二十四日午後十時四十三分ごろ常磐線下り広野ー木戸間にバラバラの轢死体があるのを広野駅助役正木清一さんが発見富岡署に届出た同署で検死した結果茨城県筑波郡真瀬村字真瀬飯岡三郎さん(三三)と判明、八六二列車に飛込んだもので附近に遺書があるところから覚悟の自殺とみられている。

天気予報

(今晩) 北よりの風晴明け方曇
(明日) 東ないし南の風朝晩曇がちで俄雨の降ることもあります
(海上) 今晩おだやか、明日は多少風波があり幾分見とおしが悪いでしょう。

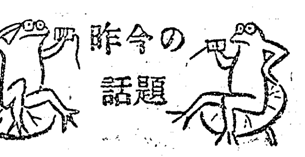
地下足袋 運動靴 長靴 袋屋本店

平市各商店が 夏の藏ばらい!!
整理品 見切品 メチャメチャの大安売
平名物 でこ市
期日 八月二十七日より三日間 朝から晩まで
場所 平市三十米通り

ごあいさつ
このたびじやんがら本舗みよしの姉妹店として… 御当地の皆様に本当の和菓子の味を御賞味いただきたく装いをこらして開店いたしました なにとぞ御引立賜りたく御願い申上げます
8月25日開店
趣味の和菓子
江戸好み 抹茶菓子
銘菓 じやんがら
小倉最中
有平糖 梅ぼ志
みよし姉妹店 和
磐城市中島本町通り
電四一六(呼)

平けいりん
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市大町
小雨決行
發走11時
8月後節 27(土) 28(日) 29(月)
主催平市

人任せでは決らぬ 合磯問題
市長自ら熱意示せ

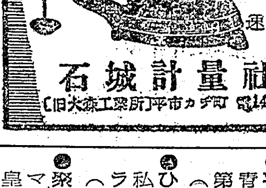


▽磐城市に分市させろと諸橋市長を再度にわたつて吊しあげ、市長室占拠騒ぎまで引起した豊間町合磯部落民七十余名は昨廿四日も大挙して市役所に押しかけ市長に回答を迫つた

このため市当局では市長ほか松本（庶務）鯨岡（観光）丹野（水産）課長らと市議会側から強口、坂本（昌）石山、水竹、四家議員、遠藤豊間支所長などオールメンバーを揃えて会見、すつたもんだの挙句「漸くなだめて帰した…」ような結果であつた▽「分市は承認出来ない、生活上の問題は県の水産課長が実状調査に来平するからそのとき話合う」というのが結論のようだ

つたが、合磯部落民にとつては「生活権の問題」である、二、三の者の間に後から策動して突つく者があつたとしても「分金問題」は部落民にとつての現実の問題である、これを掘り下げないで「認めぬ」の一点張りでは、素僕な漁民らは納得行くまい▽従来数十回にわたつて調査されているが、何十回行つたとしても素通りしたのでは調査にならない、どだい丹野、鯨岡課長クラスにとの問題を任せていたことが市首脳部の手落ちである。シメナワも満足に張れず加工組合も説得出来ないような政治性のないズブの素人らにこうした大きな政治的問題を任せていたのが事態を悪化させた原因である▽昨日の交渉から漸く市議連の強者らが顔を出しているが、早くこれらの人たちに智慧をかりて、こんなにこじれないうちに解決すべきだつたと思う、誰が考えたつて部落民たちは「分市」が目的でない、「分金問題」さえ江名組合との間に円満に解決つき、同等の生活権が獲得出来れば柳びんを逆立て騒ぐ必要もないし、この根本線が決れば通学区の問題も自然解決つく筈である

▽要は政治の妙である。何時の場合でも心を相手の人の立場に置き替えて、しかる後に規則や法律の運営を如何に上手に現実とマツチさせて行くかが市長さんの政治手腕というものであろう、「人任せはいけない」。



石城計量社
（旧大森工業所）平市カヂ町 電1468

冬の暖房には 教組再び愛の運動
中小礦の石炭を

県教組ではさきに全県下に呼びかけて不振炭砿の救援米を贈つて不況にあえぐヤマの人々から感謝されたが、今度はその第二救援事業として県内中小校千八百校に対して冬期間の煖房用石炭斡旋の労をとり、月間約一万トンの石炭を中小炭砿から買上げてやる運動を計画しており、二十九日福島で開かれる県労協大会で確認を受けた上、県議会の側面的協力を得て、直ちに実施することになり成果が期待されている。

賑つた四倉七夕
装飾一等は紙屋呉服店

四倉町観光協会主催七夕まつりは秋日和にめぐまれた二十三日午後から同町各商店街が一せいに飾付け、夕刻には仲町通りを始め新町本町など三、四十軒が笹飾りデコレイションで町内本通りは車馬も交通止めで色とりどりの吹流し、クス玉で本町通りを埋め近年にない程美しく飾られ近郷近在から約八千の人が押寄せ町は人の波と化し、盛況だつた。

主なる出し物は養老の滝＝仲町寺岡商店天下の奇観長良川の鵜飼＝仲町紙屋呉服店、浦島太郎＝仲町平熊薬局、マンボサーカス＝仲町京屋、舌切り雀＝仲町縣武士金物店などで平も顔負けするような出し物であつた審査の結果次の通り決定され賞品が贈られた。

◇一等天下の奇観長良川の鵜飼（紙屋呉服店）◇二等舌切り雀（縣武士金物店）◇三等養老の滝（寺岡商店）◇四等けん牛と織女（丸イ文具店）◇五等浦県作太郎（平熊薬局）◇佳作十名

尚二十四日午後七時からジャンガラ念仏大会が催された。

磐城にマグネシウム工場
工費二億円で十月着工

常磐地区総合開発計画の一環として予ねてから磐城市小名浜周辺への工場誘致が叫ばれていた金属マグネシウム工場建設が本決りとなつた。

経営は旭化成工業会社で大体総工費二億五千万円を見込んでおり、敷地は市内弁別地内に約六万坪を予定、土地買収も地主側との話合が終つたと伝えられる近く同社延岡工場から係員が二十名が現地に乗込み準備に着手するもようで、遅くも十月ころまでには地鎮祭を行い工場建設着工の運びだと言われ関係者を喜ばしてる

運営顧問会
平市公民館で

平市公民館＝館長長谷川政氏＝では三十日午後一時から同館に於て運営顧問会を開き次の議題について協議する。

▽地域活動委員会役員会開催について

▽九月公民館運営審議会提出事項について

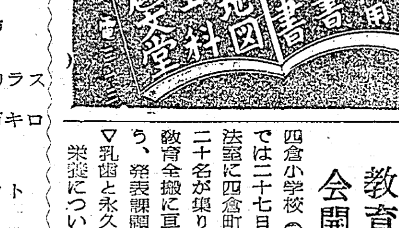
今晩のラジオ

NHK（第一）

6、05、弥次喜多道中記
6、25、オテナの塔
6、45、四局通信
7、15、録音ニュース
7、30、浪花演芸会
8、00、歌の花ごよみ
8、30、由起子
9、05、ニュース解説
9、15、のんきタクシー
9、40、時の動き
10、15、邦楽名曲選
10、40、音楽涼み台

ラジオ福島

6、05、消える孤島
6、15、放送劇（狐とカラスと山鳩の話）
6、40、父を訪ねて一万キロ
7、15、民謡風土記
7、30、日東紡アワー
8、00、タレントスカウト
8、30、浪曲玉手箱
9、00、平凡アワー
9、30、郷土歌手ヒツトメロディ
9、45、夜の調べ
10、05、名作アルバム
10、25、夜の希望音楽会
11、05、浪曲名調アルバム



五カ月振りに身元判る
平のれき死体

去る三月六日早朝、平市稲荷町猪狩ホーム附近で列車にひかれた男の身元が五カ月余を経た二十五日になつて判明した。

二十五日午前五時ごろ宮城県桃生郡河北町農業渡辺安之助さん（五八）が平署を訪れ、茨城県関本村関本炭砿整正寮で働いていた息子の五男（三〇）らしいと申し出た。平署で当時の人相、着衣、時長などをきいたが、死体と一致するため、渡辺五男さんに間違いないとして市福祉事務所に連絡した。

船員保養所 設置の陳情

磐城市議会議長、長瀬彰議、中之作漁協組合長吉田議氏ら代表四名は、中之作港に「船員保養所」設置に関し関係各省に陳情のため二十三日上京した。

この船員保養所は予ねてから懸案のもので、敷地二百坪は地元中之作が提供、総工費約五百万円を計上そのうち厚生省補助三百万円、県補助百五十万円、市負担百万円という内訳である。

教育研究大会開く

四倉小学校（校長蒿谷伸六郎氏）では二十七日午後一時から同校礼法室に四倉町内小、中校教員約百二十名が集り教育研究大会を開き教育全般に亘つての研究発表を行う、発表課題次の通り。

▽乳歯と永久歯の交替期に於ける栄養について＝大野第一小佐藤吉雄先生、

▽農山林に於ける後進性（貧困的封建的性格）に基く教育の困難について＝大野第二小鈴木公正先生、

▽科学的合理的精神の教育＝大野中佐久間タカ先生、

▽プリント学習について＝大浦小庄司真一先生、

▽図画教育について＝四倉中伊達義道先生、

▽私の学級生活について＝四倉小飯島敏夫先生

▽講評＝四倉小校長。

今晩の映画

◎平館 夜の部 六時三五分
背空の仲間
第二の恋人
（三十日まで）（電四六六）

◎ひかり座 夜の部 六時五五分
私の夫は二人いる
ララミーから来た男
（廿九日まで）（電一三三八）

◎聚楽館 夜の部 六時三五分
マンボ
皇太子の初恋
（三十日まで）（電四七〇）

◎世界館 夜の部 六時五六分
清水の三下奴
母笛子笛
（三十日まで）（電五八）

◎民劇 夜の部 六時三〇分
果てしなき蒼空
マラガ
（二五日まで）（電一三二二）

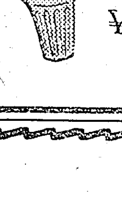
◎東映劇場 夜の部 六時四六分
里見八犬伝大会
夕焼け童子
（三十日まで）（電六五）

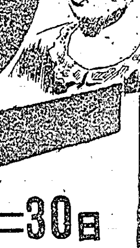
割烹 開花 田町 電一三八九

★お飲みもの
コーヒー 五〇円
紅茶（レモン入） 五〇円
オレンジジュース 八〇円
レモンジュース 八〇円
フルーツソーダ 八〇円
★甘味
あんみつ 五〇円
みつまめ 四〇円
フロウトあんみつ 八〇円
★サンドウイツチ
ハムサンドウイツチ 一〇〇円
玉子サンドウイツチ 一〇〇円
野菜 〃 一〇〇円
カツ 〃 一五〇円
★洋食
ポークソテー 一五〇円
ビーフステーキ 一八〇円
ハンバークステーキ 一五〇円
チキンソテー 一五〇円
チキンカツ 一五〇円
カレーライス 一五〇円
ビフシチユー 一五〇円

きつちん（洋食）は二階になつております
たまはん
★でんわ1611ばん
★おとどけいたします

クリームはソフト時代
夏の味覚

ソフトクリーム

¥40円
平凡
平駅前電509

胸を焼く情熱の激しさ 忘れ得ぬゲイブルの魅力 戦火のフランスに果てしうたかたの恋を描く哀傷の大ロマンス
帰郷
「哀愁」の巨匠マーウイン・ルロイ監督
クラーク・ゲイブル
ラナ・ターナー
主演
お友達と恋人とご家族お揃いで楽しめる思春期映画の傑作
M.G.M 総天然色
リリー Lili

レスリー・キヤロン
メル・フアーラー
ジヤン・ピエール オーモン
26日＝30日
民劇

26日（金）
27日（土）
28日（日）
ナイトショウ
血わき肉踊る西部劇の魅力と痛快さ溢れた大活劇！
静かなる対決
監督 エドウイン・L・マリン
上映時間十時三十分
料金三十円
平館

▽開店▽
スマートボール
26日は午後5時
27日は午後3時
28日は午前9時
是非御家族づれ御来店下さい
マンボ
常磐市湯本三函三久デパート跡 電492